

戦争は秘密から始まる 秘密保護法でこんな記事は 読めなくなる



特定秘密保護法vs国民の知る権利!

2014年12月10日、秘密保護法が施行

今まで行政などに情報請求しても、黒塗りだらけの情報が出てきたり、そもそも秘密だらけの状況だった。そのうえ、なにが「秘密」になるのかわからないのだから、このうえは、こんな記事が読めなくなるといふ事態が起きてもおかしくない。本書は、第一線で活躍する新聞記者たちが今までに書いた具体的な記事を通して、国民の知る権利が危機に直面していることをリアルに伝える。

●もくじ

- I部 新聞記者にとっての秘密保護法**
秘密保護法とは何か
新聞社と記者は秘密保護法でどのような影響を受けるのか
新聞の記事の作り方の流れの中で、どう萎縮が起きるのか
ジャーナリストが秘密を暴いても処罰されないヨーロッパやアメリカ
新聞労連と秘密保護法
- II部 秘密保護法によって、こんな記事は読めなくなる**
「国民をだまさないために～北海道警裏金問題取材から」
「屈せず、臆せず、したたかに～在日米軍取材から」
「基地を覗く、命を守る～秘密に包囲された沖縄米軍基地の取材から」
「これ以上取材活動を制限するのか～原発をめぐるさまざまな闇を探る取材から」
「実名で語ることの重み～米軍基地で働く日本人作業員の取材から」
「『市民への監視』を監視するために～自衛隊・情報保全隊取材から」
「現在進行形の調査報道にも支障が～政治家・閣僚への取材から」
「気象情報を『特定秘密』にしないために～気象庁への取材から」
「『ブラックボックス化』進む警察～情報公開制度を駆使した取材から」
「公安警察が見つけた警察のための秘密保護法～公安警察への取材から」
青木 理(構成・日比野敏陽)
- III部 市民の日常活動にもこんな影響が……**
原発情報発信はテロ? / 仕事の話も秘密漏えい
環境保護も秘密に? / 大学院生も! / 適正評価が家族を分断する?!
情報公開を求めただけなのに…
あとがきにかえて



日本新聞労働組合連合 編
(新聞労連)

合同出版 ●A5判ブックレット96ページ / 定価=本体700円+税 2月下旬刊行!

申 込 書	戦争は秘密から始まる 秘密保護法でこんな 記事は読めなくなる		ご送付先 〒
	日本新聞労働組合連合 編 ■定価=本体700円+税		お電話 FAXまたは e-mail
	*ご注文は10冊以上で お願いします。送料無料で		お名前
	お申し込み先 日本新聞労働組合連合 〒113-0033東京都文京区本郷2-17-17 (井門本郷ビル6階) FAX03-5842-2250 TEL03-5842-2201		冊